

町民の皆様

大木町の子どもを地域で見守り、育てましょう。

大木町では、令和2年6月2日、町内の用水路で発生した小学生兄弟の水の事故を永く心に留め、二度と悲しい事故を起こさないという決意のもと、かけがえのない子どもたちの命を守るために、6月2日を「大木町安全の日」として、安全で安心なまちづくりを進めています。

子どもたちが、様々な体験を通して安全に生活するための判断力や行動力を身につけていくためには、学校と家庭、地域が連携して子どもの生活の様子を見守り、育てていくことが大切です。

水難事故や交通事故、犯罪から子どもたちを守り、安心して安全に生活できる地域づくりに向けて、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

○事故や事件につながるような危険な行為を見たときは、声をかけましょう。

「～は、危ないから止めなさい」「早く帰ろうね」「一人でいると危ないよ」など

○子どもたちに、体験を通して「生きる力」としての安全に生活するための知識や判断力を育てましょう。

- ・道路の安全な横断、自転車の安全な乗り方、不審者等の犯罪にあわない行動など
- ・堀や川の近くでの安全な行動の仕方など

○あいさつ運動をとおして豊かな人間関係を築き、住みよい地域づくりを進めましょう。

- ・登下校中の子どもたちや出会った子どもたちに

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「気をつけてね」などのあいさつや声かけをお願いします。

- ・子ども見守り隊や交通指導の方々に

「おはようございます」「お世話をおかけします」「ありがとうございます」などのあいさつやおれいの言葉をお願いします。

令和8年5月15日

大木町長 広松 栄治

大木町教育長 徳永 裕

裏面もご覧ください。

地域の絆で子どもたちを事故や犯罪から守りましょう。

水の事故から守りましょう。

- 遊泳は、保護者が同行して見守りましょう。
- 釣りなどは、子どもだけで行かず、保護者等、大人が同行しましょう。
- 釣りなど水辺の遊びをする時は、ライフジャケットを着用しましょう。
- 緊急時は、周囲の人に助けを求め、119番へ通報しましょう。



交通事故から守りましょう。

道路への飛び出しは、大変危険です!

- 道路を横断するときは、手を挙げて、左右の安全を確認しましょう。
- 自転車も交差点では、一旦停止をして、左右の安全を確認しましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。



あいさつ、声かけ、見守り運動で子どもたちを守りましょ

- 日頃のあいさつ、声かけで、人と人とのつながりを深め、豊かな人間関係を築きましょう。



「おはようございます」「おつかれさま」「今日も元気ね」「気を付けてね」

- 「ながら見守り」で子どもたちを温かく見守り、育てましょう。

散歩しながら、農作業しながら、家事をしながら、

買い物をしながら、子どもたちの様子を見守りましょう。



大木町では、令和2年6月2日に町内の水路で発生した小学生の水難事故をふまえて、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの生命や安全を守る日として、この日を「大木町安全の日」と設定しました。